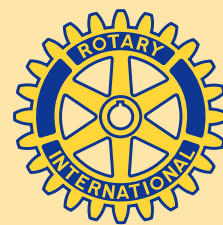


RI第2820地区
土浦ロータリークラブ
創立 1958年2月14日
承認 1958年3月 7日

RI第3520地区
姉妹クラブ
台北陽明扶輪社

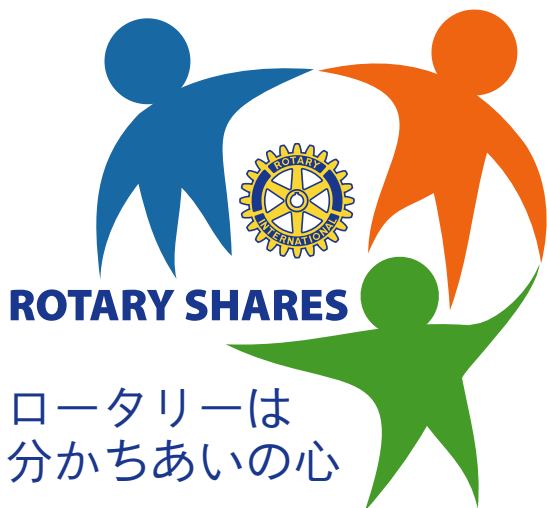


TSUCHIURA WEEKLY REPORT

会長 河合 隆 幹事 竹中 広夫 【URL】 <http://www.tuchiura-rc.org> 【E-mail】 office@tuchiura-rc.org
事務局：土浦市中央2-16-9（常陽銀行4F）【TEL】 029-822-1250 【FAX】 029-824-8830

RI（国際ロータリー）の創立：1905（明治38） 日本のロータリー創立：1920（大正 9）

2007年～2008年度 国際ロータリーのテーマ



ロータリーは
分かちあいの心

RI会長

ウィルフリッド J.ウィルキンソン

2007～2008年度 4月第2例会プログラム 4月10日（第2471回）

- 点 鐘・ 会 長・
- ロータリーソング・ 四つのテスト・
- ビジター紹介・ 親睦活動委員会
- 結婚記念祝・ "
- 幹事報告、委員会報告
- 会 食・
- 卓 話 「ジョギングについて」
NPO法人 スポーツ健康支援センター
理事長 古徳 洋一氏
- にこにこBOX・ S.A.A
- 出席報告・ 出席委員会
- 点 鐘・ 会 長
- ロータリーソング・ それでこそロータリー



井上壽博ガバナー作

格調高く、和やかに S.A.A

4月はロータリー雑誌月間です。

前週の例会報告

1. 会長挨拶

皆さんこんにちは。桜も満開でしょうか？良い季節となってまいりました。先週の週末29日に新宿御苑へ行ってまいりましたが、桜の見頃ということで大変な人出であり、何処から湧いてくるのか、あの広い園内が人で埋まっておりました。帰りに上野駅構内の「アトレ」に入ったのですが、ここも客席は人で一杯。偶に東京に行きますと刺激的で人間の多さだけでエネルギーを貰ったような気がします。せめてこの10分の1でも土浦に来ないものかと思ったりもしたものです。

さて、先月は月初から「地区チーム研修セミナー」、そして15・16日と「クラブ会長エレクトセミナー」、22日の「ロータアクト地区大会」とクラブ内の行事ではありませんが、この年度末の中、準備、設営等と関係者の皆さんには、本当にご苦労様でした。感謝申し上げます。

今月も、水戸で5・6日の2日間に亘り地区大会がございます。例年よりコンパクトな運営がなされるようで、1日目は、会長幹事及び地区役員等の会議が主なものと思います。しかし、他の会員の参加も呼びかけておりますので、大いにご参加ください。2日目には、クラブ紹介、表彰等があり、当クラブでは、廣瀬さん、神林さん、海老原さん及び土浦クラブが登壇してガバナーより直接表彰されます。来年は当クラブが地区大会を開催しますので、その準備のためにも会員各自の役を割り振られてもよいように運営等につき充分の視察をお願いいたします。

また、もう目前であります。27日には、「つくば国際大学」において700人からの「地区協議会」を設営しなければなりません。中桐実行委員長、山本幹事のもと準備も進んでおりますが、当日の役割が大変多く御座います。皆さんの更なる御協力をお願いいたします。今回の「地区協議会」がエレクトとしての行事の区切りとなります。土浦ロータリークラブの名誉のためにも、最後の踏ん張り所で御座いますので、立派に成し遂げますようご協力の程お願いいたしまして、4月の挨拶と致します。

2. 新入会員卓話

安藤真理子 会員

私は介護の仕事をしておりますので、今日はそのお話をさせていただこうと思います。まず、この仕事を始めたきっかけからお話しします。短大を出たあと、東京でOLをし、つくばそしてまた東京に転職し、結婚して専業主婦になりました。二人目の子供が幼稚園に入る前に、「子供の手が離れたらパートの仕事しよう。その時は高齢者にかかわる仕事をしたい。その準備のため、今のうちに資格をとっておこう」と思い、調べ始めました。その頃は今のよう簡単にヘルパーの資格はとれませんでした。一般的ではなかったもので、年に一回遠くの市の社会福祉協議会くらいしかとることが出来ない時代でした。やっと資格のとれるところをみつけたので、そこに通いながら、それでは働く場所はあるのか、と下調べを始めました。すると、小さい子供を抱えた女性が働くことはとても厳しい、ということを知りました。それなら、小さい子供がいても働く意欲のある女性が働きやすい職場を自分でつくってはどうか、と考えました。



一方でちょうどその頃、もうすぐ介護保険という新しい制度ができる、という情報を知ったのです。まったく新しい制度なら、大きい企業も自分がつくるような小さい会社も全員がスタート地点につける。そして「畳の上で人生の最後を迎えることのお手伝いをしたい」という気持ちを現実にできる訪問介護の仕事で会社を作れそうだと、それなら事務所は自宅の一部を改装すれば大丈夫。大きな資金がなくても運営できる。

条件がちょうどあったので、まだまだ子供の手は離れなかったのですが、思い切って訪問介護の会社を立ち上げました。従業員は、訪問介護事業所として認定を受ける最低基準の2.5人(正職2人、パート1人)でスタートしました。

さて、仕事を始めて気付いたのは、この土浦に、なんと一人暮らしのお年寄りの多いことか、そしてかなり認知症の進んだ人でも一人で暮らしている。ということです。地域の方に支えられて生活しています。そういう方々のところに、掃除・洗濯・食事作りといった家事援助や、お風呂のお手伝い・病院の付き添い等々でお伺いしました。

また、自宅で寝たきりの方のおむつ交換にも行きました。夜中のおむつ交換は一晩で10~15件くらいあり、私が毎晩行きました。今でもおむつ交換は誰にも負けない、という自信があります。ただ、最近はおむつも格段に進化し、夜中に交換しなくても朝まで大丈夫という商品が次々にでてきて、夜中のおむつ交換は激減しております。

さて、誠心誠意、訪問介護の仕事をしていくうちに評価をいただき、利用者数もかなり増えてきました。そうこうしているうちに、いろいろな問題点も見えてきました。例えば、日帰りで施設に行き、お風呂やレクリエーション、

昼食をとって帰ってくるデイサービスがありますが、それに行かなくなる方々もたくさんいました。理由をお聞きすると、「子ども扱ひされていやだ」等いろいろな不満をおっしゃいます。

また、お子さん達が独立して広いお屋敷に一人暮らしの方もたくさんいらっしゃいます。ご本人も私達介護する者も、まだまだ一人で大丈夫、と思うのですが、「火の始末が心配。もし万が一火事になったら、誰が責任取るの?」と、近所の方から、遠方に嫁に行った娘さんや、家族とマンション暮らしをしている息子さんに訴えられます。結局、ご本人はもちろんのこと、ご家族や私達介護職員も本意ではあるけれど、認知症の方が一緒に生活するグループホームや軽費老人ホームなどに入らざるを得ない、という方々を見てきました。

そしてまた、自分が考えていた「畳の上で最後を迎えるのが幸せ」ということは、理想であって、現実にはそんな甘いことではない、という事実にも気付かされました。毎日毎日介護に追われて、家庭崩壊になってしまった家族に出会いました。最初はやさしく介護できたけれど、毎晩何度も起こされてトイレに付き添わなければならない。認知症がひどく気がつくと思まみれ。それを片付けなければならないお嫁さん。また、介護に疲れて、言葉もかけないどころか食事すら出してもらえない、介護放棄をされていた方にも出会いました。マスコミでも耳にし目にされると思いますが、介護に疲れて、自分の両親、妻、夫を殺めてしまうという事件も人ごとではありません。

本当にいろいろな方に出会い、知ることができました。そして、今まで得た知識、情報をもとに自分の理想とする施設を建てたい、不幸な事件があってはならない、と現在のプラザマアムという施設を立ち上げました。

ここには、ケアマネージャー事業所、訪問介護事業所、デイサービス、ショートステイ、一般の方の住むアパート、高齢者住宅、託児所が一箇所に集まっています。高齢者の方々だけではなく老若男女の集まる施設にしたい、と思って作りました。

介護保険の認定を受けている高齢者数は、茨城県は全国で最下位でした。茨城県にはお年寄りはいないのでしょ。いいえ、そんなことはないと思います。地域がら未だに「介護は嫁がするもの」「他人に頼むなんて、近所に知れたら恥ずかしい」「家を出た兄弟姉妹たちが、介護保険を利用したいという嫁の悪口を言う」等々の問題もあります。実際、私達が訪問介護する家のご家族の方から、事業所の看板の入った車では来ないで欲しい、と言われたこともあります。

しかしながら、介護の中で大変なところを、ちょっとだけでも他人に頼むだけで、肉体的にも精神的にもかなり負担は軽くなるのです。例えばおむつ交換などはその代表です。一日に3回30分ずつ頼むだけで、家族の方がやるより、はるかに手際よく、後始末まできれいにやってもらえます。床ずれもできにくいです。その分だけ笑顔が戻ってきます。40歳以上の人は皆さん介護保険料を支払っています。上手に利用することで、介護する人も、介護される人も笑顔で過ごしていただきたいのです。

ただ、介護保険は難しく、専門の方に聞くのが一番だと思います。私もケアマネージャーをしておりますが、もし、御家族、お知り合いで介護の必要な方がいらっしゃいましたら、ぜひ近くの専門家にご相談ください。

最後に、ご参考までに訪問介護の料金の一例を。掃除、洗濯、料理、買物等の生活援助、という家事的なサービスは自己負担が1時間208円、1時間半で291円。オムツ交換は30分で231円、お風呂の介助は1時間で402円です。ただし、これはほんの一例です。

人生のラストステージを笑顔で迎えていただきたいと思います。本日はありがとうございました。

50周年実行委員会からのお知らせ

台北陽明RC訪日団 (林文雄 団長 以下52名+添乗員2名)

6/6(金) 台北発 → 成田 → 土浦 歓迎夕食会 ホテルマロウド筑波泊

8:55 CI-100 13:05 16:00 18:30~20:30

6/7(土) <記念ゴルフ大会> ホテル出発→富士カントリー→ホテル着 記念式典

6:00 7:15~14:00 15:00 15:30~

<東京秋葉原観光> ホテル出発 → 秋葉原 → ホテル着 記念式典

8:00 9:30~13:00 14:30 15:30~

6/8(日) ホテル発 → 阿武隈洞 → 猪苗代湖 → 五色沼 → 裏磐梯猫魔ホテル泊

8:00 9:30 12:00 15:30 17:30

6/9(月) ホテル発 → 会津若松城 → 飯盛山 → 大内宿 → 湯西川伴久ホテル泊

8:30 10:00 14:00 15:30 17:30

6/10(火) ホテル発 → 龍王峡 → 館林 → 成田着 成田発 → 台北着

8:00 9:00 12:00 14:30 16:25 CI-101 18:55

※6/8~10の二泊三日観光旅行(費用6万円)に同行する方を募集しています。

参加希望者は沼尻さんにお申込み下さい。

ネパール現地訪問団の参加者&旅程が決まりました。

<参加者> 辻英二 倉持武久 河合文恵(会長夫人) 松尾さん(事務局)

<旅程> 5/9 成田→香港→カトマンズ 5/10 ガネシュ 高等学校訪問

5/11 カトマンズ→香港(夜行便) 5/12 香港泊 5/13 香港→成田

3. 幹事報告 第10回理事会報告 (平成20年4月3日(木))

- ・ 3月31日をもって、森内 英雄、佐藤 克美、田中 聡 3名の退会を承認した。
- ・ 5月例会プログラムを原案通り承認した。
- ・ 入会希望者の書類を関係委員会に送ることを承認した。
- ・ 「がんに打ち克つ栄養と健康」の講演会を協賛し、協賛金2万円を支出することを承認した。
- ・ 2009年度ロータリー財団国際親善奨学生として大塚幸司氏 (1978年生まれ、牛久市) を土浦RCとして推薦した。
- ・ 2008学年度ロータリー米山奨学生としてハルビン・ロクシャーナ (バングラディッシュ) を受入れる。小倉会員をカウンセラーとする。

にこにこBOX

4/3 57,000円 累計1,816,000円

◎大槻君～読売新聞茨城版「トップの発想」で掲載されました。ありがとうございました。

◎鶴田君～1ヶ月振りのご無沙汰でした。週報も無事発行出来ています。皆様のご協力ありがとうございます。

◎安藤君～卓話ご静聴有難うございました。

※高木(博)君～ベネファクターに辿りつきました。有難うございます。

◎誕生祝～河合君、箕輪君、辻君、鶴田逸子様、
鈴木みち子様、菊地京子様、野中早苗様、
安藤正美様



メイクアップ

佐藤(3/29 龍ヶ崎中央)、地区大会(全会員登録)

出席報告

会員	欠席	出席	出席免除	出席率
64名	12名	52名	11名	77.36%



4月誕生祝

結婚記念祝 (4月)

箕輪 博之君・貞子様ご夫妻 (3日)
塚本 幸夫君・修子様 // (25日)
白田 八束君・多美子様 // (29日)
石井 敏裕君・晴己様 // (29日)

例会予告

4月17日 卓話「がんの克服に向けて私たちに今何ができるか？」
NPO法人緑の風ヘルスサポートジャパン
常務理事 薬学博士 野本 篤志氏
24日 卓話「チャーターナイト前夜」 高木 彬 会員

「土浦ロータリークラブ美術館」

白磁 水滴

井上 壽博 ガバナー作

本日のメニュー

すいとん汁

山うど 芥子酢味噌添え

さくらんぼのゼリー仕立て